



平成 21 年 1 月 28 日

上場会社名 株式会社 滋賀銀行  
代表者名 取締役頭取 大道良夫  
(コード番号 8366 東証・大証第1部)  
問合せ先 総合企画部 今井信一郎  
主計室長  
(TEL. 077-521-2205)

## 平成 21 年 3 月期第 3 四半期の「有価証券評価損」ならびに平成 21 年 3 月期通期の「業績予想の修正」に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 21 年 3 月期第 3 四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

また、平成 21 年 3 月期通期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 平成 21 年 3 月期第 3 四半期末の有価証券評価損

(単位：百万円)

	単体	連結
(A)平成 21 年 3 月期第 3 四半期会計期間(平成 20 年 10 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで)の有価証券評価損の総額(イ-ロ)	12,254	12,256
(イ)平成 21 年 3 月期第 3 四半期累計期間(平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで)の有価証券評価損の総額	15,781	15,800
(ロ)平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間(平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 9 月 30 日まで)の有価証券評価損の総額	3,527	3,544

- (注) 1. 四半期における有価証券の評価方法は、切放し方式を採用しております。  
2. 当行の決算期末は 3 月 31 日、第 3 四半期末は 12 月 31 日であります。  
3. 上記減損処理後の「その他有価証券」の評価差額(ネット後の評価益)は、単体・連結共 172 億円であります。

純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

(金額単位：百万円)

	単体	連結
(B)平成20年3月期の純資産額	233,174	256,868
(A / B × 100)	5.3%	4.8%
(イ / B × 100)	6.8%	6.2%
(C)平成20年3月期の経常利益額	10,119	10,881
(A / C × 100)	121.1%	112.6%
(イ / C × 100)	156.0%	145.2%
(D)平成20年3月期の当期純利益額	3,300	3,597
(A / D × 100)	371.3%	340.7%
(イ / D × 100)	478.2%	439.3%

2. 平成21年3月期(通期)の業績予想及び連結業績予想

(1) 単体業績予想の修正

(金額単位：億円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成20年10月17日公表) (A)	900	40	25
今回修正予想 (B)	900	125	110
増減額 (B-A)		165	135
増減率	%	412.5%	550.0%
前期(平成20年3月期)実績	1,044	101	33

《 修正の理由 》

経常収益は、当初予想どおり推移する見込みであります。米国発の金融市場の混乱により保有する有価証券の減損処理を行う必要が生じること等を見込み、経常利益は当初予想より165億円、当期純利益も同135億円減少する見込みであります。

(2) 連結業績予想の修正

(金額単位：億円)

	連結経常収益	連結経常利益	連結当期純利益
前回発表予想(平成20年10月17日公表) (A)	1,000	60	30
今回修正予想 (B)	1,000	105	105
増減額 (B-A)		165	135
増減率	%	275.0%	450.0%
前期(平成20年3月期)実績	1,148	108	35

《 修正の理由 》

主として、単体ベースの修正の影響によるものであります。

以上

《ご参考》

平成21年3月期通期業績の前回(平成20年10月17日発表)予想比較(単体)

(億円)

	今回 予想	前回 予想 (H20.10.17発表)	比較
業務粗利益	568	601	33
資金利益	565	562	3
うち貸出金利息	522	522	-
うち有価証券利息配当金	167	169	2
うち預金等利息	123	131	8
役務取引等利益	65	68	3
その他業務利益	62	29	33
うち債券償却	47	28	19
経費	466	462	4
実質業務純益	102	139	37
(実質コア業務純益)	148	155	7
一般貸倒引当金繰入額	18	35	17
業務純益	84	104	20
(コア業務純益)	130	120	10
臨時損益	209	64	145
うち株式売却益	8	9	1
うち株式売却損・償却	135	12	123
うち不良債権処理損失	70	43	27
経常利益	125	40	165
特別損益	-	1	1
うち減損損失	3	3	-
税引前当期純利益	125	41	166
法人税等負担額(調整額含む)	15	16	31
当期純利益	110	25	135
与信コスト(+)	88	78	10

貸出金利息は当初予想通り(対前年比+11億円)の見込み。資金利益は市場金利低下による預金等利息の支払い減少により増加見込み。

債券の償還損21億円及びリーマンブラザーズ普通社債他47億円の減損(償却)処理予定。

金融市場の混乱に伴い保有債券の償却を行うため実質業務純益は、前回予想比37億円の減益となる見込みであります。債券関係損益を除く実質コア業務純益は前回予想を若干下回る程度で推移する見込み。

保有株式について135億円の減損処理予定。

与信コストは、当初予想比10億円程度増加の見込み。

米国発の世界的な金融市場の混乱に伴い保有する有価証券の減損処理(債券 47 億円 + 株式 135 億円 = 合計 182 億円)を余儀なくされること等により、21年3月期(通期)の当期純利益は 110 億円と当行創立以来初の赤字となる見込みであります。しかしながら、本業である預貸金業務は順調に推移しており、翌期(平成22年3月期)については黒字を確保できる見込みであります。

## 平成 21 年 3 月期第 3 四半期の業容

(億円・%)

	期中平均残高	前年同期比増減額	前年同期比増減率
貸出金	25,890	994	3.99
うち事業性貸出	15,687	485	3.19
うち消費者向貸出	8,709	191	2.24
預金等(譲渡性預金を含む)	37,169	374	1.01
うち個人預金	28,218	1,030	3.79

## 平成 21 年 3 月期末の単体自己資本比率の見込み

平成 21 年 3 月期末の単体自己資本比率は 10%程度の見込みであります。

## 平成 22 年 3 月期の業績見通し

(億円)

	22 年 3 月期 (見通し)	21 年 3 月期 (今回予想)	比較
業務粗利益	6 1 6	5 6 8	4 8
業務純益	1 6 0	8 4	7 6
経常利益	8 2	1 2 5	2 0 7
当期純利益	5 0	1 1 0	1 6 0

上記の見通しは、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。